

2020年2月5日

株式会社 Ridge-i

## Ridge-i と JSI、高解像衛星画像使用事業における協業開始 ～衛星データへの AI 解析研究開発・事業展開を本格始動～

AI・ディープラーニング技術のコンサルティングと開発を行う株式会社 Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原 尚史、以下、リッジアイ）は、日本スペースイメージング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：上田 浩史、以下 JSI）が提供するダイナミックモザイク 2019 を用いた協業を行うことになりました。これによりこれまで取り組んでまいりました衛星リモートセンシングデータへの AI・ディープラーニング技術活用への研究開発、事業展開を本格的に開始いたします。

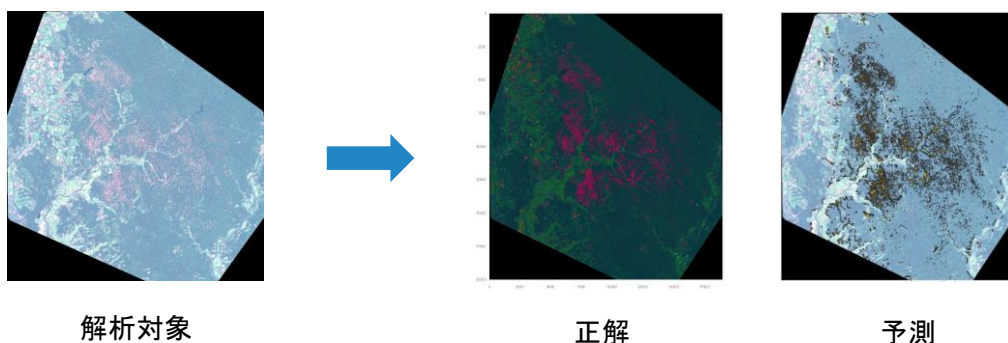
ダイナミックモザイク 2019 は離島・北方領土を含む日本全域を網羅し、50cm 解像度相当、かつシームレスな画像接合による日本全国のベースマップです。リッジアイと JSI は本データを利用したディープラーニングをはじめとする画像解析を行うことで合意いたしました。リッジアイはこれまで衛星画像データの解析事例が多数あり、宇宙航空研究開発機構（JAXA）からの解析依頼で、北海道胆振東部地震による土砂災害が発生した地域をディープラーニングで検出（Mean IoU 80%超）した実績があります。（※）

人工衛星による災害観測においては、浸水や土砂災害などの災害発生箇所の推定は、取得した衛星データを元にしながらも最終的には人の手や目により必要な情報を抽出していました。しかし、近年の地球観測衛星の増加や高性能化により、衛星から得られるデータは爆発的に増加しており、この大量なデータの中から、人間の能力では容易に得られない情報を迅速に抽出するための技術開発が求められています。衛星画像データの解析技術の発達、さらには活用実績、検証が本格化し、近年多く起こっている自然災害対策への解析データの活用やその他多くの産業分野へ貢献できる可能性が高いと考えられます。リッジアイは本データの利用により、衛星データへの AI 解析の研究開発、事業展開を本格的に開始し、実社会において実用可能な技術の開発、新産業の創出をさらに加速してまいります。

今回の協業においてリッジアイ保有の技術力と JSI 提供のデータにおける様々なシナジーを皆様へ提供できますよう両社の協業関係を最大限に活かし邁進してまいります。

### ※リッジアイ 衛星画像活用事例

土砂災害 検出 AI の開発と解析を JAXA から受託。光学衛星画像から高精度で検出しました。



### ▼株式会社 Ridge-i(リッジアイ)について

リッジアイは、最高峰の先端技術を活用し、ビジネスニーズに最適化した AI 技術を提供しています。複数の実運用実績(白黒画像のカラー化 AI、ゴミ分類 AI 等)を持ち、PoC で終わらず、現場で使える AI ソリューションの提案・開発を行っています。今後も AI コンサルティングとソリューション開発の 2 つを柱に、クライアントと共にビジネスの最高地点を目指すことをミッションとし、クライアントが持続的に効果を実感できるような技術提供を目指します。

会社名： 株式会社 Ridge-i  
設立： 2016 年 7 月  
所在地： 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 438  
代表： 代表取締役社長 柳原 尚史  
URL： <https://ridge-i.com>  
メール： [contact@ridge-i.com](mailto:contact@ridge-i.com)